

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

第 27 号

平成8年11月5日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



ミネアポリス市長(中央)を囲んでー茨木市女性訪問団

目次

- ミネアポリスでの発見 P.2.3
- '96俳句コンテスト P.3
- ミネアポリス市サッカーチーム茨木市民サッカー大会で好プレー P.4.5
- ミネアポリス市学生訪問団市内中学・高校を訪問 P.6
- ミネソタ州日本語村だより P.7
- 上海少年宮民族音楽団中学生とジョイントコンサート P.7
- 活動室、今後の行事のご案内、寄付 P.8

ミネアポリスでの発見

耳原三丁目 波田瑩雅子

“Friends come in all shapes and sizes.”

海を渡ってミネアポリスへの旅。それは、日米の「姉妹たち」を発見できた旅でもありました。

今夏7月12日から19日まで、私たちは、茨木市初の女性訪問団として、渡米しました。ミネアポリスの人たちは、実に親切に暖かく迎えてくださり総勢14名の訪問団員それぞれの胸に、多くの思い出のページが刻まれたことでしょう。

ちょうど水上祭の時期で、ホストファミリーと一緒にパレードや花火を楽しんだり、パーティーを開いてもらったり、ドライブや湖の散策をしたりして、ホームステイの3日間を過ごしました。

ミネアポリス市内見学の1日は、彫刻公園から始



市長・議長を表敬訪問(左端が波田瑩さん)



昼食会で懇談する訪問団



女性団体NOWとの交流



高齢者住宅の視察



有名なミ市彫刻公園で

まり、緑の芝生の上の巨大なオブジェを見上げ、「大きなスプーンとさくらんぼ」の噴水をバックに、笑顔で記念写真を撮りました。また、全天候型の遊園地を中央に据えた全米最大のショッピングセンター「モール・オブ・アメリカ」を見学。スケールの大きさには、驚かされるばかりでした。

午後からは、ミネアポリス美術館にて、主に女性芸術家の作品の数々を案内していただきました。また、州議事堂で伺ったお話では、学校の先生や、農業家、主婦の方で、議員さんを兼業なさる方もいらっしゃるということでした。州の最高裁判事も7人中3人が女性と聞いて、女性の社会参加・参画が進んでいる“たのもしさ”を感じました。

15日、ベルトン市長と女性議員への表敬訪問に続いての昼食会は、各テーブルごとになごやかに語り合い、楽しく写真を撮り合ったりしました。



女性有権者同盟との交流

午後からは、セントポールの女性センターにて様々な女性団体からの話を聴き、ウィメンズ・プレスという女性新聞づくりの現場を見学しました。産休を取った社員や代表者のマリー・フォーベンさんと、暮らしや仕事の情報のあり方について話し合えて、有意義でした。

夕食は、アメリカンビジネスウィメンズの方々とご一緒しました。スピーチの達人な女性起業家たちとの交流は、日本女性にとって刺激のあるものだったのではないのでしょうか。

16日は、ヘネピンカウンティセンターにて、高齢者の福祉についてお話を伺いました。高齢者



ウィメンズ・プレスの社員たち

問題は、日米とも共通の悩みようです。しかし、高齢者住宅を見学してみて、老いても堂々と自立して、生活を楽しむ工夫をこらしているアメリカ女性のパワーには感心させられました。

最後に、フレミングさん宅で催していただいたさようならパーティーでは、この数日の充実した訪問の日々に胸を熱くしながら、親切にしてくださいましたミネアポリスの方々のことを、きっと忘れないだろうと思いました。

※冒頭の英文はスヌーピーと仲良しの黄色い鳥ウッドストックでおなじみの"Peanuts"より引用。団員の一人から教わった言葉です。



フレミングさん宅でのさようならパーティー

'96 俳句 コンテスト

今年もミネアポリスから、俳句コンテストの応募作品が届きました。俳句コンテストは毎年ミネアポリス市・茨木市文化協会が開催しているもので、年々応募作品数が増えています。今回も300以上の応募がありましたが、ミネアポリスの審査委員会が最終選考作品76句を選び、日本での選考を依頼されました。

今回の題は、ミネアポリスでの生活とは切っても切れない間柄のSNOW(雪)。それだけに、生活感あふれる作品や、雪の厳しさ、白銀の美を表現した作品など、同じミネアポリスに降る雪でもとらえ方は十人十色なのがよくわかりました。

最優秀賞作品(成人の部1人、学生の部1人)には、山本会長から表彰状が送られました。

最優秀賞(成人の部) Sarah Goodnough

Footprints in the snow
slowly fade into landscape
the wind erases
雪の上の足跡

ゆっくりとあたりの景色のなかに薄れて行き
風が消し去る

最優秀賞(学生の部) Kareem Aal

Those frozen paw prints
old coyote knows his way
moonfall on winter

凍てついた前足の跡

年老いたコヨーテには道はわかる
冬の月明り



訪ミチームとの親善試合



茨木市民サッカー大会での熱戦



ミネアポリス市サッカーチーム 茨木市民サッカー大会で好プレー

茨木市とミネアポリス市のサッカー交流は活発で、茨木からはほぼ1年おきにミ市近郊で開催されるUSA杯に参加しています。そして、今年夏にはミ市から少年サッカーチーム“ミネアポリス・ライトニング”が来茨し、熱戦を繰り広げました。

ミ市チームは、コーチのカール・ラインハード氏ほかアシスタント・コーチ2人、12才～15才の少年13人からなる混成チームで、茨木の中学生チームと合計4試合を戦いました。

到着の翌日8月7日には、昨年ミネアポリスを訪問した茨木チームを相手に福井運動広場でナイトー試合を行いました。昨年の茨木チームからは27人が参加し、再会を喜びあい、国境を越えた友情

を温める場となりました。

8月8日と9日は「茨木市民サッカー大会中学生の部」に参加し、中学校15校の中に混じりました。1回戦は西陵中チームと戦い、炎天下、強豪チームを相手にした結果は0対6でした。

9日は友好試合となり、豊川中チームと戦いました。ホームステイの団らんで日本滞在の緊張もとれたのか、各選手の動きはすばらしく、よく豊川中陣営に攻め込み、2対1で貴重な勝利をもぎ取りました。

友好試合の2試合目は、天王中チームとの対戦で、後半から昨年のミ市訪問チームの選手が助っ人入り、観客を大いにわかせました。



挨拶するカール・ラインハードコーチ



茨木市民サッカー大会開会式



ミネアポリスの少年達

山手台五丁目 鹿田 貞枝

息子が昨年USAカップに参加して、お世話になったチームの少年達なので、お友達が来るような、とても気軽な気持ちで引受けました。

文化の違いを感じることもありましたが、子どもはどこも同じで、家ではテレビゲームをしたり、音楽を聴いたり、ファイにふざけあったり……。

なるべく日本の食物をと思いましたが、そういうものあまり興味はないようでしたので、食事もう特別なことはせず普段通りでした。

短い期間でしたが、彼らはサッカーを通して、ホームステイや市主催の行事に参加して、立派な親善大使の役目を果たしてくれました。



ナイスガイ達よ、シーユアゲイン

中穂積一丁目 楠神千恵子

心配したのは、プライバシーを大切にしている国からの来訪者が狭い家で居心地よく過ごせるかということと食事が口に合うかということ。

昨年、息子がすっかりお世話になっていたのも、一層気合いが入りました。が、やはり十代の少年達にはかなりのカルチャー・ショックがあったようで、その気持ちをほぐしてあげられたかどうか自信はありません。

彼等は旅費の幾分かを自分で工面し、滞在中の小遣いや飛行機の使い方に工夫がありました。甘い日本の親としてはちょっと反省。

力を抜いて、またホストを引き受けてみたいと思います。



ホームステイ家庭からの報告





市立養精中学校で記念撮影

桜が満開の4月、ミネアポリス市から日本語を学ぶ中・高校生が本市を訪問し、3日間のホームステイや、市立養精中学校と府立茨木西高等学校の見学を行い、交流を深めました。

今回は、両校の先生からの報告をお届けします。

【茨木市立養精中学校】

4月20日午前9時、ミネアポリスの生徒たちが本校を訪問。交流会場に入ってきたミネアポリスの生徒たちを拍手で大歓迎すると、ミネアポリスの生徒が日本語で挨拶し、本校生徒も英語で歓迎の挨拶をしました。その後、各学年の授業参観をして頂きましたが、英語の授業では、ミネアポリスの中学生が日本の教科書を読むなどなごやかな雰囲気でした。授業参観の後は、図書室でお互いの学校生活の様子、遊び、

市内中学・高校を訪問

ミネアポリス市学生訪問団



府立茨木西高校の生徒たちと交流

文化の違いなどについて、活発な意見交換が行われ、予定時間を越える楽しい交流となりました。

(教頭 浦瀬 佳子)

【大阪府立茨木西高等学校】

本校では、英語指導助手の授業を参観したり、粘土細工の授業に参加。かたことの日本語と英語で本校生徒ともども楽しい授業参加だったようでした。放課後は、海外在住経験のある生徒とクラブ活動を見学。柔道部や和太鼓部の活動を興味深く見ているすがたが印象的でした。また、ブラスバンド部の演奏に聴きいたり、卓球やバスケットを部員と一緒に楽しみました。最後に学校と生徒、英語指導助手からプレゼントの贈呈をし、別れぎわには、文通を期待して住所交換も行われましたが、残念ながら文通はまだされていません。

(教頭 中西 英夫)



教科書を読む市学生



ブラスバンド部生徒の演奏に拍手

ミネソタ州日本語村だより

平田二丁目 佐野 牧子

7月の中旬、私は、日本語村のキャンプカウンセラーををしに、アメリカのミネソタ州に着きました。今回のキャンプは、アメリカ全土からやって来た子どもたちに、日本の文化および言葉を教えるというものです。

私たちはまず1週間の事前オリエンテーションに参加し、そこで、“Understanding American Kids”など、様々なスキルを学んでからキャンプへ行きました。もちろんほとんど日本語を知らない子どもたちに、「おはよう」は英語のOHIOに発音が似ている



生徒と仲良しポーズ



書道を教える佐野さん

と教えたり、毎日いろいろな工夫をしました。アメリカ人といっても、日本の子どもと同じで夜は寝たがらず、仕方なく日本の昔話をしたりしました。そして、だんだんとそれぞれの家族のこと、友達のことをみんなでたくさん話せるようになり、私は、この子たちから、とても多くのことを学びました。彼らは



クラブ活動の空手

本当にはっきりと自分の意見を表します。それが良い事なのか、悪い事なのか、日本人の良いところは？アメリカ人の良いところは？と一緒に考え、子どもたちのみならず、私たちスタッフにとってもとても有意義で、充実した日々だったと思います。

いたらない私を温かく手伝ってくれた他のスタッフ、そして、この機会を私に与えてくれた皆さん、ありがとうございました。



キャビンの中で子どもたちと

上海市少年宮民族音楽団 中学生とジョイントコンサート

上海市少年宮民族音楽団は、6歳から16歳までの少年・少女が胡弓など古典楽器の演奏基本訓練と音楽理論教育を受け、その演奏は世界各国で高い評価を得ています。

去る8月26日、大阪府からの要請があり、本市太田・天王中学校吹奏楽部との交流演奏会が実現。

当日は、約300人の市民が鑑賞されました。

第1部では、太田・天王中学校吹奏楽部が華麗な演奏を披露。第2部では、上海市少年宮民族音楽団が荒城の月など日本の名曲をはじめ、中国の風情



クリエイトセンターでの交流演奏会

を表現した情緒豊かな演奏を披露。満席の会場からは万雷の拍手。大いに盛り上がった交流演奏会でした。両市少年・少女によるふれあい交流では、写真撮影や記念品交換などで友情を深め、別れを惜しみつつ、親善交流が幕を閉じました。

WE ARE FRIENDS

ようこそ! 青少年活動室へ

「WE ARE FRIENDS」は、季節のイベントやアメリカのゲームを楽しみながら、英語を自然に身につけるところです。毎月、原則的に第3日曜日、福祉文化会館で行っています。ネイティブスピーカーの先生と楽しい一時を過ごしてみませんか?参加は無料です。



ガーナからのゲストを迎えて



アイオワ州のお祭りを体験

Won't you join us?

北摂随一の国際色豊かな茨木市には世界各国の人々が住んでおられます。ミネアポリス市民との交流を目的として発足した姉妹都市活動室も、今では茨木市在住の外国の方々との交流も行っています。毎月第1木曜日10時~12時、第3土曜日2時~4時の例会では、世界各国のゲストから英語でお話を伺います。あなたも世界の人々と友達になりませんか?詳細は協会事務局まで。

今後の行事のご案内

・「国際交流の集い」

と き：12月1日(日)

ところ：市民会館ドリームホール

福祉文化会館302・303号室

内 容：バザーと市内在住外国人等との日本語による交流を行います。

- ・市民とJICA(大阪国際センター)研修員とのふれあい交流を平成9年2月上旬に開催予定。詳細は、平成9年1月号市お知らせ版に掲載。

寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄付をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(4月~10月、敬称略)

- 〈市へ〉6月国際ゴルフ株式会社 (100万円)
- 9月宗教法人辯天宗冥應寺 (120万円)

● 会 員 募 集 ●

本協会では、姉妹、友好都市交流をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、春と秋に発行する協会報や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉個人会員(一般) 2,000円 (学生) 1,000円

団体・法人会員 5,000円

〈申込先〉協会事務局(市役所3階自治振興課国際交流係)

☎22-8121 内線2143

